

## 四月例会

日時 平成二十八年四月十一日(月)

テーマ 日本のイノベーションのジレンマ

講師 関西学院大学 経営戦略研究科 教授

玉田俊平太氏

## ■ 略歴

関西学院大学経営戦略研究科副研究科長。博士（学術）（東京大学）。ハーバード大学大学院にてマイケル・ポーター教授のゼミに所属、競争力と戦略との関係について研究するとともに、クレイトン・クリステンセン教授からイノベーションのマネジメントについて指導を受ける。筑波大学専任講師、経済産業研究所フェローを経て現職。

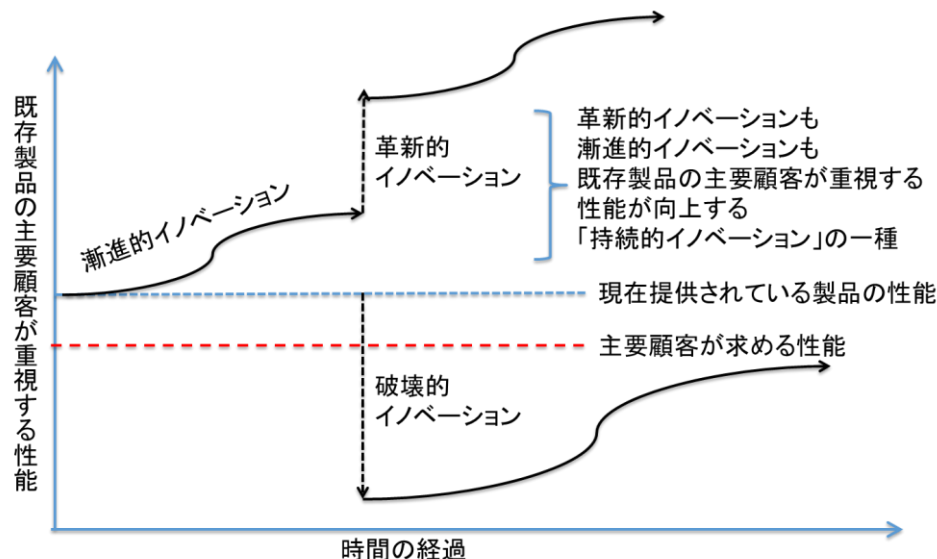
玉田俊平太氏



研究・イノベーション学会評議員。平成23年度TEPIA知的財産学術奨励賞「TEPIA会長大賞」受賞。



## イノベーションの3分類



日時 平成二十八年五月十八日(水)

テーマ プラットフォームエコシステム理論の新潮流

講師 B-frontier 研究所代表

高橋 浩 氏

高橋 浩 氏

■ 略 歴

1970年東北大学大学院工学研究科(応用物理)修士課程修了後、富士通(株)に入社。システム本部主席部長(オープンシステム担当),SI事業本部主席部長(通信システム,商品企画担当)などを経て、2005年宮城大学食産業学部教授。2010年、宮城大学退職後、MCPC顧問を経て、2015年にB-frontier研究所設立。

2006年に東京工業大学大学院博士課程修了、博士(学術)。

公開されているプラットフォームエコシステムおよびビジネスモデルに関する研究群例

<http://www.slideshare.net/HiroshiTakahashi/>



MQB:ドイツのフォルクスワーゲングループが開発した4WD専用車台

高橋 浩

## 六月例会

日時 平成二十八年六月二十日（月）

テーマ プラットフォーム戦略論とは何か

講師 早稲田大学 商学学術院 教授

根来 龍之 氏

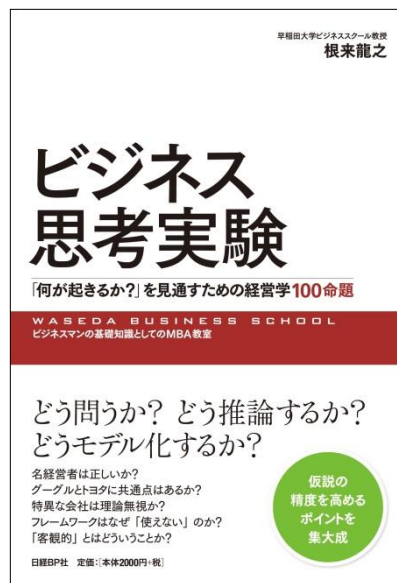
## ■ 略 歴

京都大学文学部哲学科卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科（MBA）修了。鉄鋼メーカー、英ハル大学客員研究員、文教大学などを経て、2001年度より早稲田大学教授。早稲田大学IT戦略研究所所長（現職）。経営情報学会会長、国際CIO学会副会長、組織学会理事・評議員、Systems Research誌Editorial Board、Systems Practice誌International adviserなどを歴任。他に、エグゼクティブ・リーダーズフォーラム代表幹事、CRM協議会副理事長、経済産業省IT経営協議会委員、IT Japan Award審査員などとして実業界にも積極的に関わっている。経営情報学会論文賞を3回受賞。

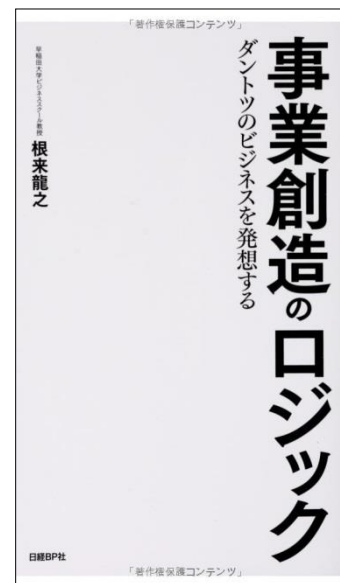
根来 龍之 氏



プラットフォームビジネス最前線 - 26の分野を図解とデータで徹底解剖, 翔泳社 (2013/12/13)



ビジネス思考実験, 日経BP社 (2015/12/15)



事業創造のロジック, 日経BP社 (2014/1/23)



# 七月例会（JWSE女性エンジニア活生分科会と共催）

日時 平成二十八年七月二十日（水）

テーマ 技術流出の構図

・エンジニアたちは世界へどう動いたか

講師 科学技術・学術政策研究所主任研究官

藤原綾乃氏

## ■ 略 歴

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（技術経営戦略学専攻）。博士（工学）（東京大学）。東京大学経済学部卒業。

知的財産研究所特別研究員、大阪大学 特任助教を経て、現職。

稲盛財団（稲盛和夫理事長）寄付講座にて「人材流動化とイノベーション」等の講義を担当。

専門は、技術経営戦略論、イノベーション論。



藤原綾乃氏



## 膨大な特許データ分析で読み解く 人材活用戦略

「頭脳の流出」というセンセーショナルに扱われがちなテーマについて実証的に分析し、グローバル市場で活躍するエンジニア、さらに受け入れ先の各国企業の実態を明らかにする

## 八月例会

日時 平成二十八年八月二十四日(水)

テーマ 21世紀の消費・無謀、絶望、そして希望

講師 立教大学社会学部現代文化学科教授

間々田孝夫氏



間々田孝夫氏

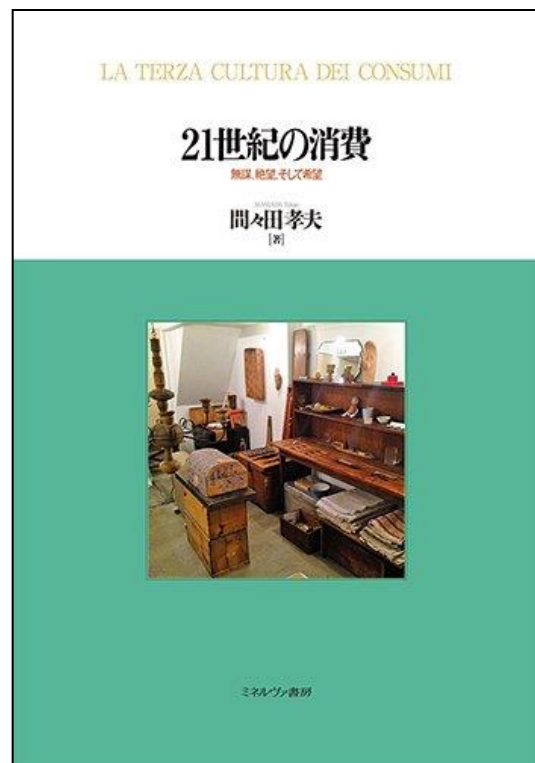
## ■ 略 歴

1974年東京大学文学部社会学科卒業。1979年に東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。金沢大学文学部を経て、現職。

専攻は消費社会論、経済社会学、社会行動論、社会階層論。

20世紀には、大量消費と機械化を追求する「第一の消費」、自己顕示や商品の差異を求める「第二の消費」が注目されたが、20世紀末からは文化を通じた幸福と社会的配慮による安定を目指す「第三の消費」が台頭し、また消費を抑える「ゼロの消費」も復活した。

本講演では、この状況を確認しつつ、21世紀にふさわしい新しい消費のとらえ方を提案する。



21世紀の消費:無謀、絶望、そして希望,  
ミネルヴァ書房 (2016/3/5)